

平成 29 年 12 月 吉日

情報産業労働組合連合会
中央執行委員長 殿

災害時救援ボランティアコーディネーター
みやざき 会長 金丸 功



2016 年度「情報労連 愛の基金」助成報告書

拝啓

師走の候、時下ますますご清祥の事と、お慶び申し上げます。

この度は、本団体の活動にご理解を頂き暖かいご支援を頂き誠にありがとうございます。

本団体は、宮崎市主催の「ボランティア養成講座」を受講した受講生が、結集し平成 17 年 9 月、宮崎市を襲った、集中豪雨で活動したのをきっかけに平成 17 年「災害時救援ボランティアコーディネーター」として団体を結成活動を始めました。今年で 12 年の活動です。

今後も、全国で発生する災害の被災者に心を寄せ、ボランティア活動を進めて参ります。

本年度助成金を活用した事業、イベントの報告をさせていただきます。

敬具

記

1・事業名

- A) 熊本県御船町避難所サポートボランティア派遣
- B) 熊本県南阿蘇村避難所・仮設住宅でのボランティア活動
- C) 宮崎市内中学校教職員避難所運営訓練
- D) ボランティア資機材の点検管理
- E) 宮崎市消防局主催「親子で遊ぶ防災体験コーナー」
- F) 宮崎市社会福祉協議会主催健康福祉フェスタ
- G) 会員研修会「災害時に役立つレシピ」実習

2・実施した事業の内容

- A) 御船町の避難所において炊き出し（田代町・たまむし地区）
- B) 熊本地震被災者との交流会及び足湯
- C) 宮崎市の避難所指定になっている中学校教職員に避難所での役割訓練
- D) ボランティア派遣時に使用する資機材の管理及び点検
- E) 消防・防災フェスタで親子の防災コーナーを担当「災害について親子学ぶ」
- F) 健康福祉フェスタでキャンドル製作（3・11 東日本大震災の被災者と絆をつなぐ）
- G) 会員研修として会員のスキルアップと講師担当者の勉強会

3・助成事業の実績（ イベントの集客数等）及び 写真等

A) 炊き出し三船町田代地区 70名・たまむし地区 50名



B) 南阿蘇町避難所交流会&足湯の様子 9月～12月迄（延べ 80名）



B) 中学校教職員避難所訓練（46名）



C) ボランティア資機材管理・点検（参加者会員 25名）



D) 消防局共催事業親子で学ぶ防災コーナー消防局発表 (800名)



E) 宮崎市健康福祉フェスタ (ハートキャンドル製作)



F) 会員研修会 (会員 22名)



感 想

「愛の基金」助成金の活用は、任意のボランティア活動団体には、大変ありがたい助成であります。

SVC みやざきでは、近年各地域で発生しております、様々な災害を鑑み、地域、学校、企業等に防災講座を開催いたしております。平常時の活動は、地域自治会等への減災活動のアドバイスや協力を進めており、災害発生時は、東日本大震災や熊本地震・北部九州豪雨等にボランティアを順次派遣被災地との絆を繋いでおります。3・11の絆プロジェクトは、ボランティア活動した被災地と電波で繋ぐイベントを行い、復興の一助となればとの思いでキャンドル点灯をし、心の交流を続けています。

もちろん、会員自身の研修も開催し、ボランティアとしての意識の高揚を図り自己満足にならないような人格形成にも力を注ぎながら、仲間意識を高め、地域活動に励んでいます。

助成金の活用は上記の活動に使用させていただきました。大変有難うございました。